

平成 29 年 度

(後期高齢者医療特別会計)

主 要 な 施 策 の 成 果 の 説 明

芽 室 町

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
1 総務費	1 総務管理費	1 一般管理費	070158	後期高齢者医療事務執行事業

事務事業名	後期高齢者医療事務執行事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 20 年度から 年度まで
-------	---------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 被保険者へ制度内容の周知を行う。 医療給付や保険料の賦課の基礎となる被保険者資格管理を行う。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 後期高齢者医療制度対象者 ※75歳以上及び一定以上の障害を持つ65歳～74歳の町民
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 被保険者の制度への理解を深める。 被保険者に適正な保険給付(医療費支出)を提供する。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 従来の老人保健制度は、保険者と給付主体が異なるという財政的矛盾を含んでいたことや、現役世代と高齢者の負担が不明確であったことから、超高齢化社会を展望した継続的な医療制度について10年以上議論した結果、平成18年医療制度改革関連法案が可決成立し、平成20年度から後期高齢者医療制度が開始された。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 平成25年8月の社会保障制度改革国民会議の最終報告書において、後期高齢者医療制度は十分定着しているため、今後は現行制度を基本としながら、実施状況等を踏まえ、必要な改善を行っていくことが適当であるとまとめられ、今後も継続することとなった。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		659,000
		地方債	円		
		その他(使用料等)	円	6,206,340	6,434,375
		一般財源	円		8,038,000
		事業費計(A)	円	6,206,340	6,434,375
	人件費	正職員従事人数	人	5	5
		人工数(業務量)	年間	0.5712	0.5162
		人件費計(B)	円	4,706,444	4,015,811
	トータルコスト(A)+(B)		円	10,912,784	10,450,186
活動指標	被保険者数		人	2,733	2,800

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
一般会計繰入金(人件費相当分)	円	5,431,884	5,721,808	7,246,000
一般会計繰入金(一般管理費分)	円	774,456	712,567	792,000
後期高齢者医療制度円滑運営事業費国庫補助金	円			659,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

平成29年度末(平成30年3月31日)現在の被保険者の状況

被保険者数 2,800人

限度額適用認定証交付数 1,160人

特定疾病療養受療証交付数 27人

区分		人数(人)
1割	一般課	1,493
	一般基	7
	低所得Ⅱ	696
	低所得Ⅰ	464
3割	現役並み	138
未申告(不明)		2

平成29年度療養の給付状況(北海道後期高齢者医療広域連合会資料)

1 療養給付費

療養給付費等	件数	日数	費用額(円)	保険者負担分(円)	一部負担金(円)	他法負担分(円)
入院	2,477	45,816	1,387,341,541	1,237,142,180	146,982,377	3,216,984
入院外	38,686	63,414	654,877,069	582,656,586	70,659,742	1,560,741
歯科	4,996	10,210	85,987,200	76,562,834	9,422,313	2,053
小計	46,159	119,440	2,128,205,810	1,896,361,600	227,064,432	4,779,778
調剤	29,000	(回) 38,045	450,842,670	401,572,599	48,644,465	625,606
食事・生活 (医科・歯科)	2,339	(回) 114,610	77,189,143	47,394,203	29,381,260	413,680
訪問看護	128	1,074	11,281,240	10,153,116	769,400	358,724
中計	75,287	120,514	2,667,518,863	2,355,481,518	305,859,557	6,177,788
療養費等	8			51,600	-51,600	
療養費	1		10,600	9,540	1,060	
補装具	38		1,385,348	1,236,107	149,241	
柔整・鍼等	1,142		17,044,062	15,274,212	1,769,850	
その他	92			266,125	-266,125	
小計	1,273		18,440,010	16,785,984	1,654,026	
移送費						
大計	76,568	120,514	2,685,958,873	2,372,319,102	307,461,983	6,177,788

※中計・大計は調剤回数及び食事・生活(医科・歯科)件数・回数を除く

2 高額療養費

件数	高額療養費(円)	現物分再掲	
		件数	高額療養費(円)
5,484	106,810,087	2,442	92,879,638

3 高額介護合算療養費

《保険者負担分合計》

件数	高額介護合算療養費(円)
106	8,548,982

金額(円)
2,487,678,171

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
1 総務費	2 徴収費	1 徴収費	070159	後期高齢者医療保険料徴収事務

事務事業名	後期高齢者医療保険料徴収事務	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 20 年度から 年度まで
-------	----------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 北海道後期高齢者医療広域連合が賦課した保険料を被保険者から徴収する。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 後期高齢者医療制度対象者 ※75歳以上及び一定以上の障害を持つ65歳～74歳の町民
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 被保険者から適正に保険料を徴収する。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 従来の老人保健制度は、保険者と給付主体が異なるという財政的矛盾を含んでいたことや、現役世代と高齢者の負担が不明確であったことから、超高齢化社会を展望した継続的な医療制度について10年以上議論した結果、平成18年医療制度改革関連法案が可決成立し、平成20年度から後期高齢者医療制度が開始された。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 平成25年8月の社会保障制度改革国民会議の最終報告書において、後期高齢者医療制度は十分定着しているため、今後は現行制度を基本としながら、実施状況等を踏まえ、必要な改善を行っていくことが適当であるとまとめられ、今後も継続することとなった。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地 方 債	円		
		その他(使用料等)	円	847,506	809,619
		一 般 財 源	円		269
		事業費計 (A)	円	847,506	809,888
	人件費	正職員従事人数	人	5	5
		人工数(業務量)	年間	0.2861	0.2997
		人件費計 (B)	円	2,357,342	2,331,536
	トータルコスト(A)+(B)		円	3,204,848	3,141,424
活 動 指 標	保険料調定額		円	170,698,700	179,789,700
					190,063,000

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
一般会計繰入金(徴収費分)	円	847,506	809,619	859,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

後期高齢者医療制度事業の一般状況

- 1 年間平均被保険者数 2,763人
- 2 人口対後期高齢者医療被保険者加入割合 14.80%
(H29年度人口 18,660人) $2,763人 \div 18,660人 \times 100$

3 後期高齢者保険料収納実績

(単位:円)

	調定額	収入額	不納欠損額	未納額	収納率(%)
現年分	179,789,700	179,206,700		583,000	99.68%
滞納繰越分	358,050	29,400	24,550	328,650	8.21%
計	180,147,750	179,236,100	24,550	911,650	99.49%

4 平成29年度保険料率 (平成28年度と同様)

所得割 10.51%

均等割 49,809円